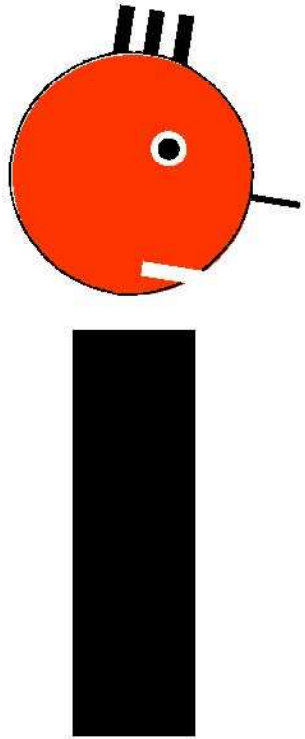


TAKAHAMA KODOMO SHIMINKENSYO  
OTONAMUKEKEIHATUSYO

# おとなもね...

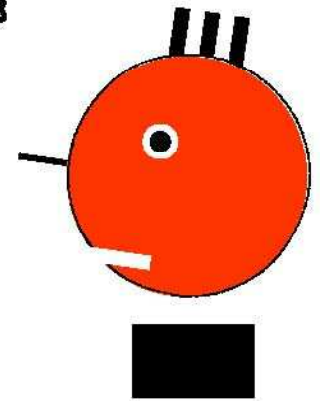
絵・三浦太郎



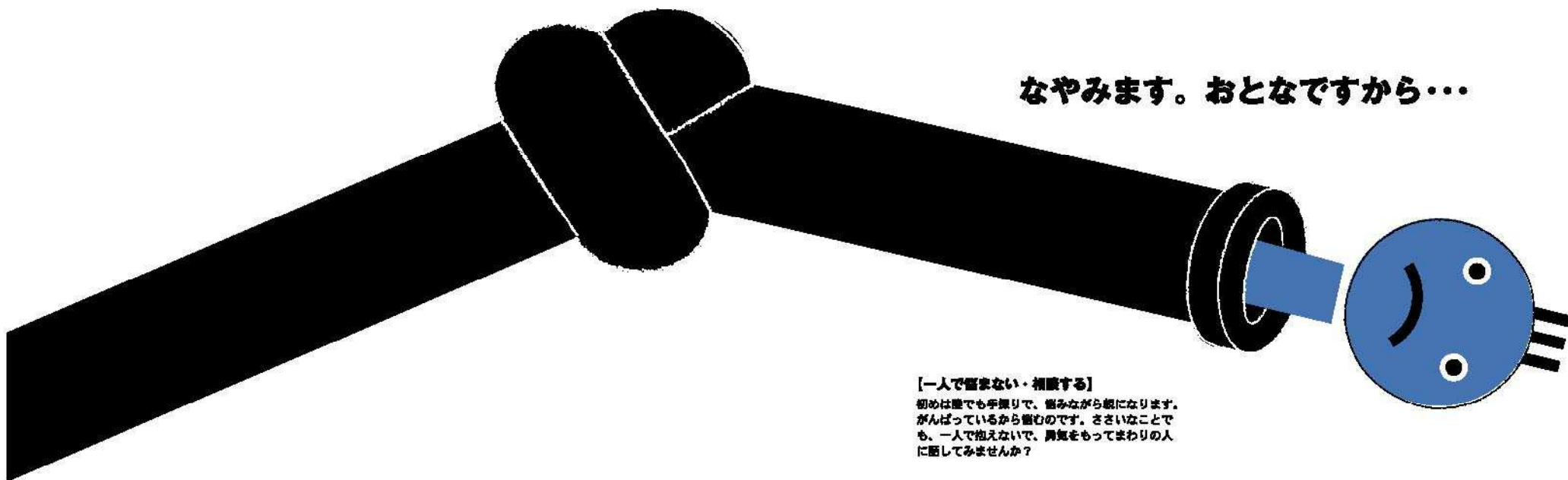
TAKAHAMA KODOMO SHIMINKENSYO  
OTONAMUKEKEIHATUSYO

# おとなもね...

絵・三浦太郎



なやみます。おとなですから…



**【一人で抱えない・相談する】**

初めは誰でも手探りで、悩みながら前になります。  
がんばっているから悩むのです。ささいなことでも、一人で抱えないで、勇気をもってまわりの人に話してみませんか？

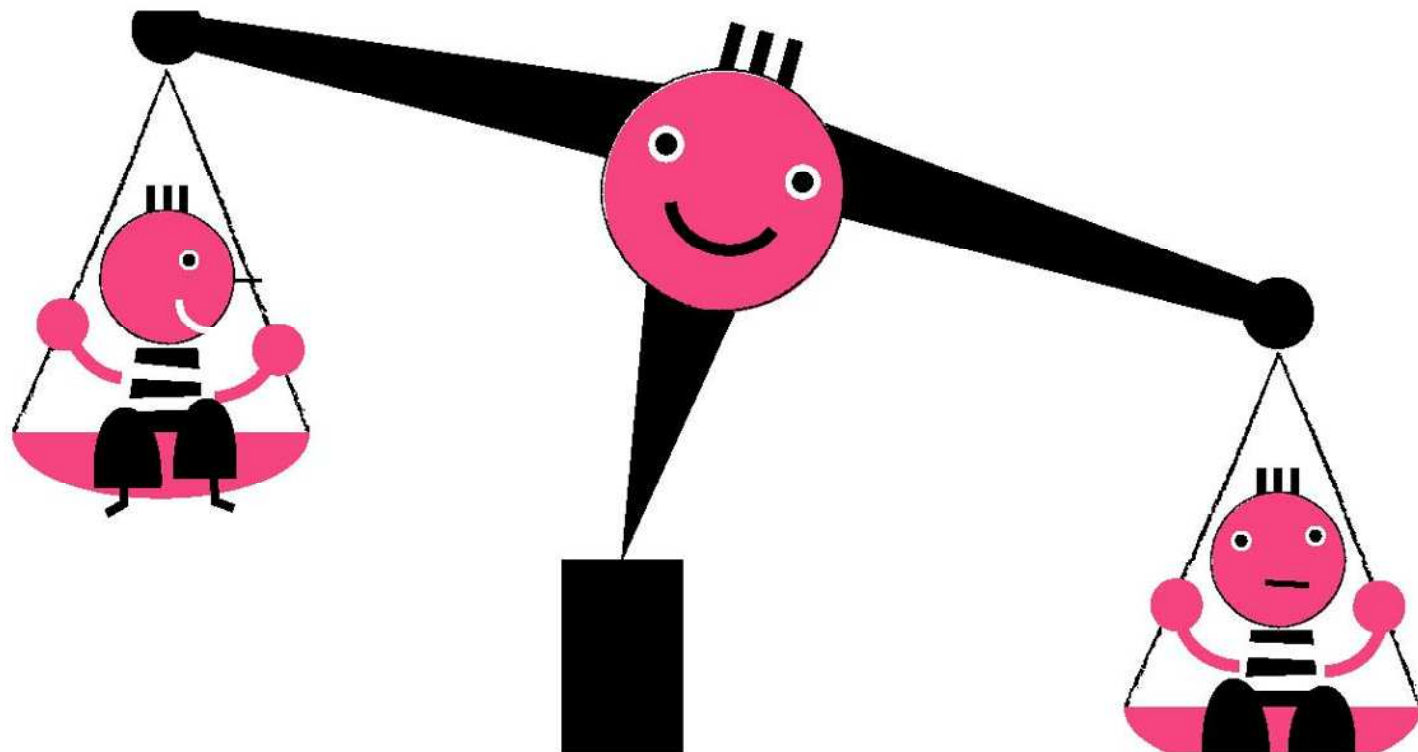
まちましよう。おとなですから…



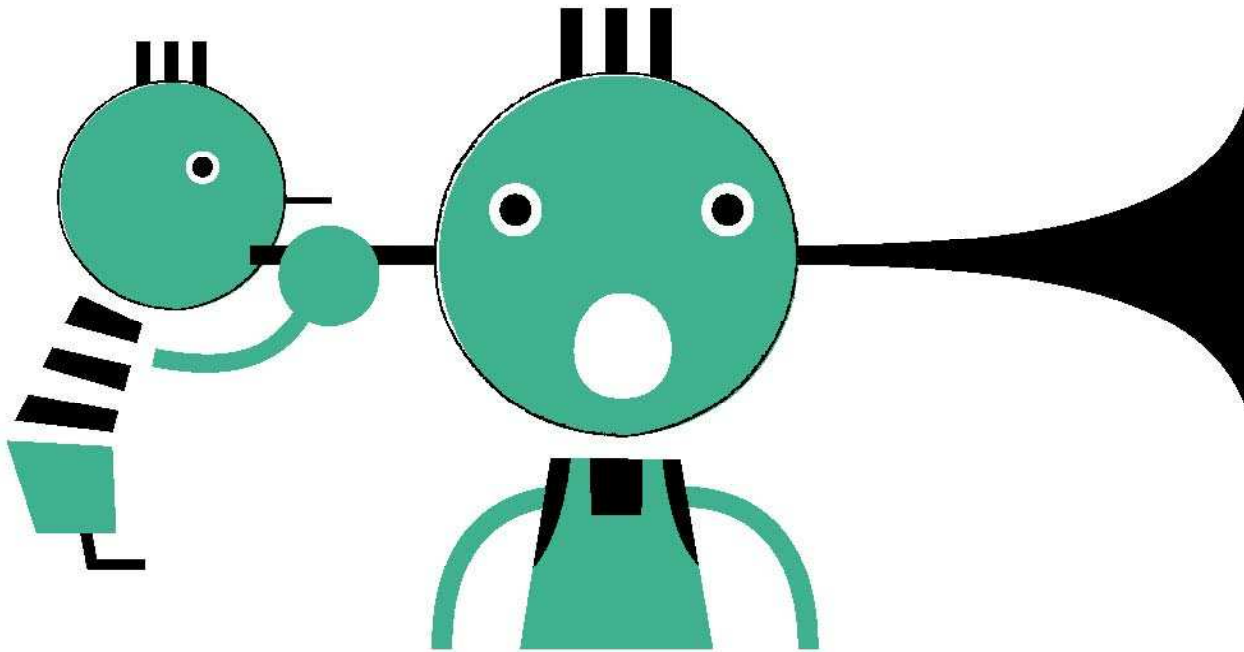
**【子どもを見守る・待つ】**  
子どもがひどく危険な時以外は、好奇心の芽を摘むことなく見守りましよう。失敗しても、立ち上がるまで待ちましよう。



くらべないで。  
おとなですから…

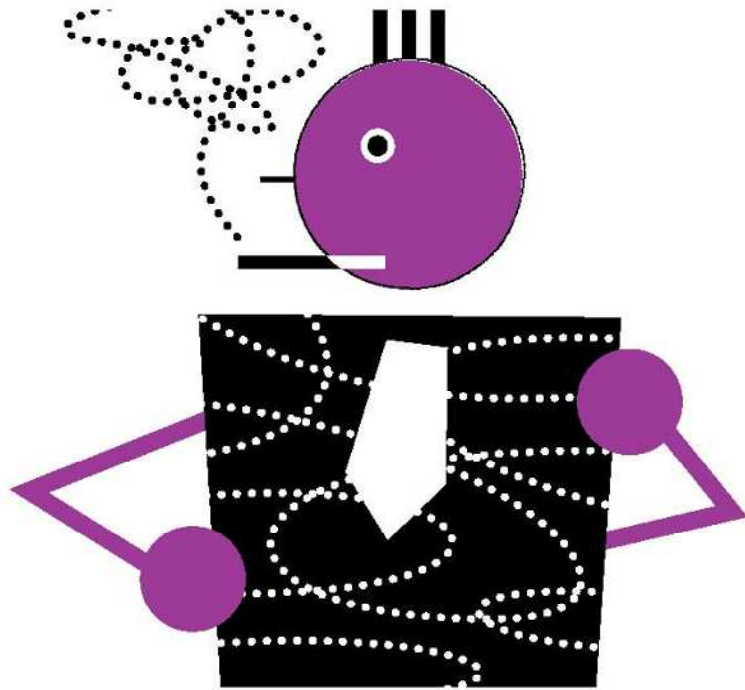


【きょうだい、子どもを比較しない】  
子どもは一人ひとり違います。大人もみんな違います。  
それぞれの個性を見つめ、大切に大切に育てましょう。  
違いは比べるものではありません。いくつもの違った  
輝きを喜び合ひましょう。

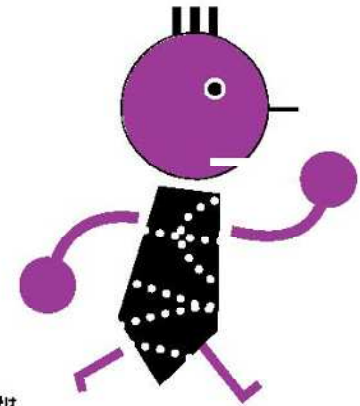


**ききましよう。おとなですから…**

**【子どもを受け止める・話を聴く】**  
子どもの話をゆっくり聞いてあげましょう。思いや考えを尊重し、必要ならアドバイスをしましょう。「受け入れられている」その安心感ががんばれるのです。



みなおします。  
おとなですから…



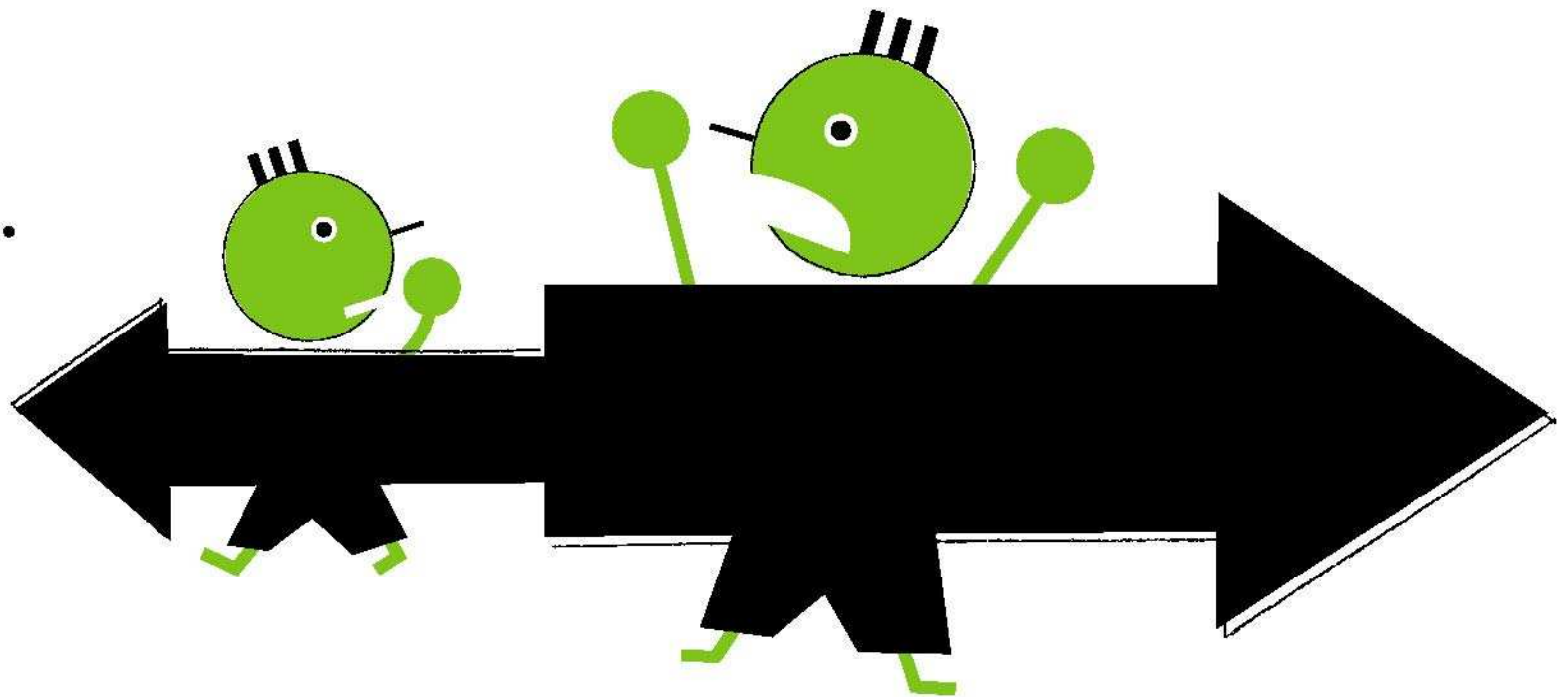
**【大人自身のくらしを見直す・大人と子どもは含む連続】**  
子どもは、一瞬に過ぎている大人の考えや言葉を無条件ながら受け入れ、それを手本に成長していきます。まず大人が自分自身を見直し、社会で必要なマナーやルールを伝えていきたいものですね。

おしつけないで。  
おとなですから…



**【子どもを一人の人間として扱う】**

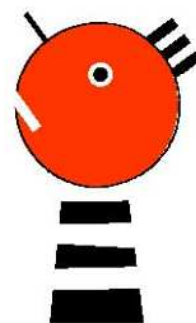
「子どものため…」と言いながら、大人の都合に合わせて  
ようとしていませんか。小さくても一人の人間として扱い、  
子どもの「伸びていきたい!」という思いを大切にしてい  
きましょう。





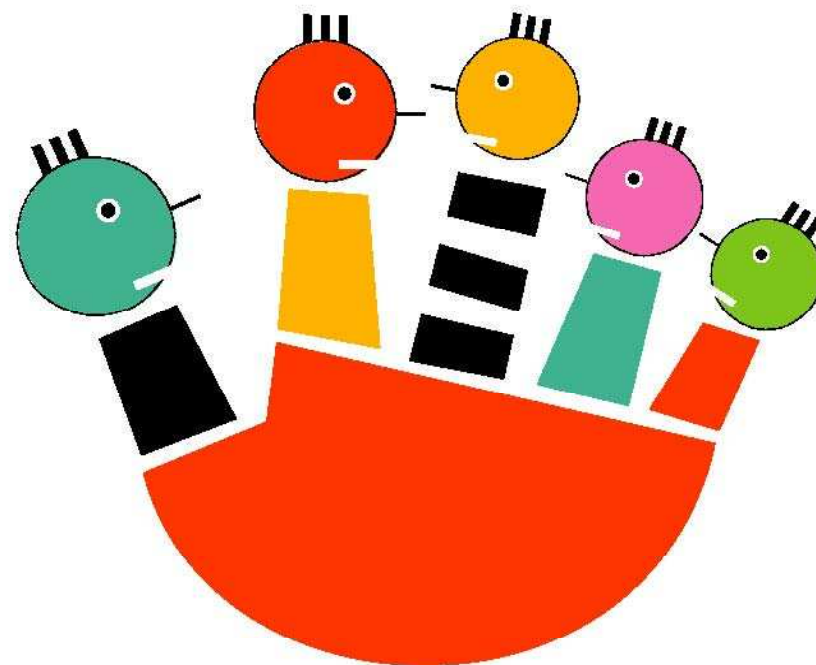


おこらないで。おとなですから…



**【深呼吸・叱り方】**  
感情に走らず、まず深呼吸してみましょう。  
言葉を選び、落ち着いた子どもに伝えましょう。

おとなにもね。  
おとなもね…



**【余裕・親年齢】**

大人も子どももうれしいことやいやなことは同じです。  
子どもが1歳なら、親としての年齢も1歳です。一緒にゆっくり成長していきましょう。

## たかはま子ども市民憲章 (平成15年11月1日制定)

### 前文

わたしたちは、国連・児童(子ども)の権利条約の理念をふまえ、人権意識かたまりの持てる高浜を築いていきます。そのためには、子どもとおとなが市民として、互いの意思と力を尊重し、境界を架け合ふことが大切です。そこでわたしたちは、現在及び未来の高浜のまちを支え合っていくために、ここに「たかはま子ども市民憲章」を定めます。

### 子どもから

- みんな幸せになる権利がある。だから、自分の心を閉ざさないで、場所も、別の見方をしたら場所かもしれない。自分のことをもっと好きになって楽しもう！
- わたしは世界でただひとり、だから大切。あなたも世界でただひとり、だからやっぱり大切。お互い大切なんだから、いやがることはしないようにしましょう。
- 学校の勉強だけが学ばことじゃない。遊びからも友達からもたくさん学ばことできる。だから遊びと友達を大切に、もちろん勉強も大切！
- けんかはほどほどに。けんかもそんなに悪いことじゃない。けんかから学ばことだってあるしね。

### おとなから

- 自分を大切にし、希望をもって生きる姿勢を示していきたい。
- どの子どももみんな一人ひとり違います。その違いをその人の豊かさとして受けとめます。
- 子どもが自分と周りを支える力をつけるために学び、活動していくことを支援します。
- 完全さを求めず、子どもが自分を出せるようにゆとりと寛容さをもって接します。
- 子どもに愛情を持って接し、干渉しすぎたり、ひとりで背負い込まないで、地域の人がとともに子どもの自決を支え、楽しく子育てを進めます。

- 眠りたくてもすぐにださない。趣味や夢をみつけて勇気しよう！それでもイヤなことがあったら「ムカつく」の一言で断らばいい。自分の感情をもう少し細かい言葉で表現してもいい。
- ひとりで奮んだりしないで、だれかに助けを求めたっていい。別に恥ずかしいことじゃないからさ。
- なんでも今、自分が「一歩」とは限らない。でもそれに近づくようにがんばって上をめざしていこう。自分らしい、自分なりのがんばりで、コツコツ コツコツ少しずつでいいよ。
- 何事にも全力投球！でも無理に行こう。チャンスはいつもそばにある。

- 子どもが安心して遊び、交流し、ありのままの自分を出せるような居場所を子どもとともに築いていくよう努めます。
- いじめや虐待など権利侵害を受けるとなく、子どもが安心して生活できるように、いつでも相談でき、救済・回復できるように努めます。
- 子どもとともに、民族的、国民的、宗教的な偏見を持つことなく、相互の理解、寛容の精神のもとで、地球市民として日本と世界の平和を願い、この世界から戦争や争いがなくなるように努めていきたい。

### あとがき

この憲章は、子どもの保護者をめめた多くの大人を対象に、たかはま子ども市民憲章を分かりやすくお伝えするために作られています。この憲章は、国連・児童の権利条約の理念を踏まえ、平成15年11月に制定されました。「人権を持ち出すまでもなく、子どもぐらい、自然に育てられるようになるのが普通だ」と思われるかもしれませんが、しかし、いざ、小さな子どもを授かってみると、分からないことや不思議なことばかりであり、不安を感じてしまうことは、保護者の誰もが体験することであろうと思います。また、子どもが関わる犯罪など深刻な事態が起きるなか、良識や道徳の不足を嘆かれることもあるのではないのでしょうか。「あたりまえのことをあたりまえに」そういう思いでこの憲章はつくられました。

過去、あたりまえであったことの一つに、「地域のネットワーク」があります。現代は、個人が孤立し、他人に対して「関係ない」という意識が強くなり、犯罪や非行が顕著であったとしても全く気づかないことがあります。また、育児においても、親戚や隣近所との付き合いが希薄で、個人で何もかもやらなくてはならなくなりました。

誰もが、それぞれ、個人とそのグループの利益のために生きることや、心の自由が保障されています。ただ、それは、より普遍的な人権を守るための手段として行う必要があることも事実です。人間として生まれ、人生を豊かにしたい、存在や価値を認められ、高めあったりすることや、愛し合い、共存していくための大切な考え方—子育ての体系が崩れた原因の多くは、こういう考えを共有できなくなったことがあげられるのではないのでしょうか。

いったん崩れた伝統的な価値観を、また、新しいかたちで取り戻そう。そのため、この憲章は、保護者の方だけでなく、多くの大人に向けて発信されることになりました。これをきっかけとして、ご家庭や地域で、人権について考えていただければ幸いです。なお、現在、高浜市には、育児をお手伝いしたいという市民のグループや公的な施設がたくさんあります。さまざまなニーズに添った企画がたくさんありますので、お気軽に足をお運びください。

たかはま子ども市民憲章普及啓発委員会・大人の学び舎づくりワークショップ

平成17年度「人権教育推進のための関係機関協議」モデル事業  
おとなもね・・・

2006年2月18日 初版 第1刷発行  
作/たかはま子ども市民憲章普及啓発委員会  
たかはま子ども市民憲章大人向け啓発づくりワークショップ  
作・監・デザイン/三浦太郎  
協力/安部秀雄  
発行/高浜市・高浜市教育委員会  
印刷場所/高浜市青木町丁1丁目4番地2  
TEL: 0669-62-1111(代)  
FAX: 0669-62-1110  
印刷・製本/株式会社エムアイシーグループ

©2006 TARO MIURA Printed in Japan